

水土里と森のふれあい学校

土地改良区では、農家の仕事が将来にわたって快適に行えるよう、ため池や取水施設・用排水路の更新及び維持管理を主な業務として行っている。

“水”は農業者のみならず地域住民にとっても欠かすことのできない大切な資源であるとともに、洪水や渇水など日常生活に多大な影響をもたらす一因である。

森林や水田の持つ水源涵養機能の大切さと、自然と環境に対する興味を子供たちに共有してもらおう機会を作れたことは今後のためにも良い事だと感じた。



内 容	近隣の小学生に対して、学習会及び木工体験を実施し、水と森林・水田との繋がりについての理解を深めるとともに、地域の環境と触れ合う機会を増やすことを目指す。	
期 間	7月21日	
場 所	羽後町立西馬音内小学校	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	森林と水田のもつ水源涵養機能の重要性と、水土里ネットの役割についての講演を行い、自然と環境に対する興味を子供たちに共有してもらおう	
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 15%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 10%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらった内容も含まれる 15%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20% 	<p>組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化</p>
今後の課題	屋外に出での活動を行う	

60%